

激しい振動、衝撃に強く、過酷な条件下でも威力を発揮

ボールカップリング



米国・韓国特許取得

米国特許番号:US8,100,773 B2 韓国特許番号:10-0972481

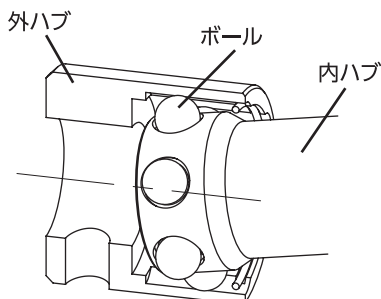


図1 ボールカップリングの構成

- ◆大きな伝達トルク
- ◆大きな許容偏角
- ◆大きな許容伸縮

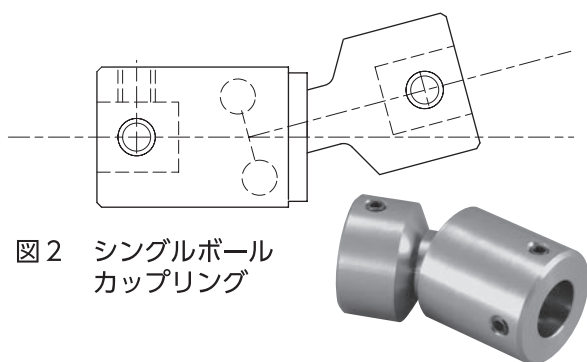


図2 シングルボールカップリング

ボールカップリングの構成

アサ電子工業が開発、製品化したボールカップリングは内ハブ、ボール、外ハブで一段が構成されている(図1)。ボールは内ハブの窪みで軸方向への移動は規制されるが、外ハブの内側に加工された溝に沿っては移動することができ、軸継手としての機能を維持したままストレスなく内ハブと外ハブの距離は変化しうる。一段のボールカップリング(シングルボールカップリング)(図2)は偏角とエンドプレイを許容し、二段のボールカップリング(ダブルボールカップリング)(図3)は偏心と偏角とエンドプレイを許容する。

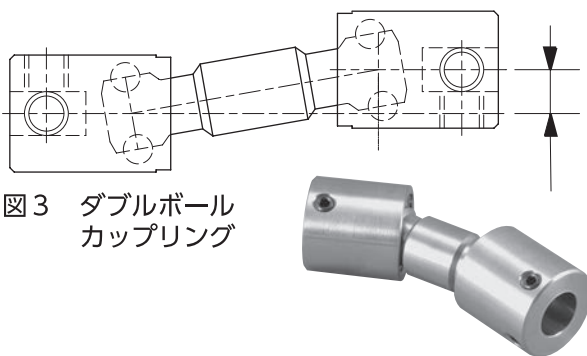


図3 ダブルボールカップリング

ボールカップリングの特徴

ボールカップリング軸のミスアライメント、特にエンドプレイに対する許容度が大きい。外ハブの溝が高精度に加工されているシリーズであれば極めて少ないバックラッシュでエンドプレイを積極的に吸収できる。偏心+エンドプレイを吸収するようなアプリケーションを、従来であれば軸継手とスプラインとを組み合わせるところを、ボールカップリングでは容易に省スペースで実現できる。



アサ電子工業株式会社

〒187-0031 東京都小平市小川東町5-16-8 テクノイト小平ビル

<https://www.asadenshi.co.jp>

TEL: 042-341-8551 / FAX: 042-341-8826

